可児市議会だより第102号　令和８年(2026年)第3回臨時会・第4回定例会

議会のトビラ

新たな議会構成…P2～
次年度予算に向けての提言…P5
10人が一般質問に登壇…P8～



表紙の写真　「紅葉と竹あかり」（可児川下流域自然公園）
えむさん（羽崎）の作品

第3回臨時会

新たな議会構成が決まりました

8月6日に開催した第3回臨時会において、正副議長の選挙や各委員会の改選などを行い、新たな議会構成が決まりました。

市民の声を市政に反映させるため、また議会活動を広く知っていただくために、議員間の連携を強め、広報・広聴をさらに充実させます。
開かれた議会運営を目指し、市民に寄り添う活動に尽力します。



副議長　天羽　良明　　議長　髙木　将延

市民への広報強化、委員会活動の活性化、条例などの見直し、地域交通や組合議会の課題解決に取り組みます。
チームとして協力し、市民の声を市政に反映させることで、より良い可児市を目指します。

議会運営委員会

議会を円滑に運営するために協議する委員会です。
議会基本条例と現状の議会活動との整合性を検証の上、果たす責任・役割を明確にして、議会活性化へ繋げていきます。



委員長　川上　文浩
副委員長　伊藤　健二
委員　亀谷　光
川合　敏己
山田　喜弘
澤野　伸
板津　博之
大平　伸二
松尾　和樹
酒向さやか

広報部会

市議会の活動を広く市民の皆さんに知っていただく「伝わる」広報へ、皆さんが読みたくなる紙面や投稿を意識して、広報紙やSNSなどを通じた魅力的な情報発信に取り組みます。

部会長　前川　一平
副部会長　田口　豊和
部会員
林　則夫　　冨田　牧子　　川合　敏己
酒井　正司　　山田　喜弘　　松尾　和樹
酒向さやか　　田上　元一

可児市議会をより身近に感じてもらえるよう、
連携して広報・広聴活動に取り組みます。

広聴部会

議会報告会や市民フリースピーチ、子ども議会、高校生議会などで市民の皆さんの意見をお聴きし、議会活動に活かします。

部会長　川上　文浩
副部会長　板津　博之
部会員
亀谷　光　　伊藤　健二　　野呂　和久
澤野　伸　　伊藤　壽　　渡辺　仁美
大平　伸二　　奥村　新五

常任委員会

議案などをより効率的・専門的に話し合うための場です。
可児市議会には、予算決算委員会と、行政の各部門に応じた3つの委員会（議員はいずれかに所属）のあわせて4つの常任委員会があります。

予算決算委員会

市の予算や決算に対する審査を担う委員会として、その役割を果たすため、次年度予算への提言の精度を高めるため、議論を深めていきます。
（※令和7年度決算の審査内容は4、5ページをご覧ください。）

委員長　山田　喜弘
副委員長　松尾　和樹
委員　議長と監査委員を除くすべての議員

総務企画委員会



所管する行政部門
市政企画部
総務部
経済交流部

地域防災力の向上、災害情報伝達の最適化、そしてDX推進に重点を置き、委員会活動を進めます。特に、機能別消防団の組織化や市民参加型の防災訓練について調査研究を深め、市民福祉向上のための業務効率化を目指します。
4年間の集大成として、次期委員会へ円滑に引き継げるよう取り組みます。

委員長　大平　伸二
副委員長　前川　一平
委員　亀谷　光　山田　喜弘　髙木　将延　渡辺　仁美　田上　元一

建設市民委員会

名鉄広見線（新可児～御嵩駅間）廃止後の課題解決と代替交通手段の確保、脱炭素社会への貢献が主な課題です。広見線（犬山～新可児駅間）の活性化も注視します。また、ふれあいパーク・緑の丘の整備について、使いやすい公園となるよう、事業者選定から設計までしっかりと監視していきます。



所管する行政部門
市民文化部
建設部
水道部

委員長　板津　博之
副委員長　伊藤　壽
委員　伊藤　健二　川上　文浩　野呂　和久　酒井　正司　澤野　伸　奥村　新五

教育福祉委員会



所管する行政部門
福祉部
こども健康部
教育委員会事務局

子どもたちが安心して学べるよう、暑さ対策や学校の様子を確認します。各校内教育支援センターや大規模改造工事が終了した桜ケ丘小学校の現状確認、サロンや子ども食堂を訪ね、高齢者や困っている人の声を聞きます。
各種事例を参考にしながら、教育や福祉の課題解決に取り組みます。

委員長　酒向さやか
副委員長　川合　敏己
委員　林　則夫　冨田　牧子　天羽　良明　松尾　和樹　田口　豊和

予算決算委員会 報告

市議会に報告された市の決算について、予算決算委員会で予算の使い方が適正であったかを審査した後、本会議で採決します。

今回、令和7年度の各会計決算内容などについて委員から104件の質問を行い、審査しました。本委員会での質問の一部や討論、次年度(令和9年度)の予算編成に向けた提言の内容をお知らせします。

※決算状況などの詳細は市ホームページをご覧ください。

令和７年度一般会計 決算

質問と回答

Q 道路維持の課題として、工事の発注作業に必要な市職員の確保を挙げているが、その人材確保に向けた方策を検討しているか。

A 土木技術職などに特化した採用の取組みとして、県内工業高校への募集要項などの配布や、可児工業高校への定期訪問や推薦枠創設、中部大学・名城大学主催の公務員説明会に参加した。

また、採用試験の早期化や建築・土木技術職員の通年募集にも取り組んでいる。

Q 一般社団法人カニミライブに、どんな支援をしているのか。また、今後の関わり方はどのようか。

A 当該法人は、地域の活性化や地域課題の解決に資することを目的に設立されている。現状は、開発した「かにたろうクッキー」の販売により、運営の安定化を図っており、安定した収益が確保できる状態になったら、地域の活性化などに向けて収益を還元していく。㈱良品計画が主として事業性の高い業務をしており、市は情報発信や地域への説明のほか、カニミライブの部会の中で意見提案しながら進めている。収益の安定化を見据え、今後は市が主体的に収益を還元する地域課題の情報収集を行っていく。

討論の内容

反対 リニア中央新幹線が地上走行する大萱地区における騒音対策や防音フード設置、災害時救援対策などが不明瞭である。合特法（下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法）のあり方について、適正価格であるかの検証と一般競争入札への移行が必要であるなどの理由から、反対。

賛成 議会から提言があった交通安全施策について、カーブミラーの設置、修繕工事や舗装修繕を令和6年度決算より増額して、推進実施されている。

DXの推進についても交付金を活用して、子育て健康プラザ・マーノの貸館申請がLINEを活用したオンライン予約で可能となるなど、適正に執行されていることから、賛成。

水道事業会計 決算

質問と回答

Q 基幹管路の耐震適合率の進捗をどう評価しているのか。また、今後、老朽管の増加も見込まれる中で、どの水準・時期を目標に耐震化を進めるのか。

A 令和7年度末の市の耐震適合率は47.3%である。全国平均との比較で良好な水準にあるが、耐震化の更新率は令和6年度から7年度は0.8%であり、さらなる進展が必要であると認識している。

令和9年度に改定予定の市水道整備基本計画では、1%以上の更新率を目標として進捗ペースを加速させる方針である。それに合わせ、基幹管路の耐震化を優先課題とした、最終的な目標を定めていく。

国民健康保険事業特別会計 決算

討論の内容

反対　被保険者が令和6年度と比較して774人減ったにも関わらず、保険税が1億3,914万円も増額しており、国保加入者には大きな負担となっている。また、今後県内保険料統一のため令和9年度、11年度も値上げが予定されているなど、負担が重くなっていることから、反対。

賛成　脳血管疾患の予防推進のため、脳ドック健診費用の一部助成の開始や、健康診断の受診率向上のため自己負担額を引き下げるなど、病気の早期発見・治療へとつなげ医療費の適正化に努め、被保険者の健康保持増進が図られていることなどから、賛成。

後期高齢者医療特別会計 決算

討論の内容

反対　子ども・子育て支援金が後期高齢者医療保険料に上乗せされている。医療保険に子育て財源を上乗せすることは保険の理念を歪めるものだ。高齢者は、高い保険料や物価高騰など生活と健康を脅かされている。このようなことなどから、反対。

賛成　歳入・歳出とも約19億円規模で、最終的に約600万円の黒字となり健全に運営されている。歳入は予算を下回っているが、決算では医療費適正化に向けた取組みを継続し、県後期高齢者医療広域連合と密に連携し、保険料徴収率向上に努めていることなどから、賛成。

令和９年度予算編成へ向けた市長への提言

令和7年度の決算審査をふまえて、事業の検証や予算の拡充などについて、
次年度予算編成に向け提言しました。

1.災害対策経費について

地震、豪雨等災害が頻発している。地域防災計画の見直しも踏まえ、スフィア基準に準じた避難所運営計画の総点検など必要な措置を講じられたい。

※スフィア基準…人道憲章と人道対応に関する最低基準

2.公共交通運営事業について

名鉄広見線の今後を見据え、廃線となる新可児～御嵩駅間の代替交通を含む地域公共交通の在り方について、関係自治体や交通事業者との連携強化および調整を進めること。また、そのために必要な予算を確保すること。

3.道路維持事業について

大型車両の通行量増加が見込まれる中、交通量や損傷の進行を踏まえて現行の修繕計画を見直されたい。見直した結果、緊急性の高いものがあれば予算を確保し、迅速に対応されたい。

4.公立保育園・幼稚園の今後の在り方と施設整備について

公立保育園・幼稚園については、施設の老朽化への対応が必要となる一方、幼児教育・保育を取り巻く環境の変化や、配慮を必要とする子どもへの支援など、公立園に求められる役割も変化している。

今後の公立園が担うべき役割や機能を明確にした上で、将来的な施設配置や運営体制の方向性を示されたい。

提出された議案と審議の結果

可決

第3回臨時会（8月6日）

8月6日に第3回臨時会を会期1日で開催しました。提出された議案（契約1件）は、原案のとおり可決されました。

【全会一致で可決された議案】

番号・付託先			件名
議案	47	—	請負契約の締結

第4回定例会（8月20日～9月28日）

提出された議案（認定13件、予算5件、条例3件、人事3件、その他2件の合計26件）は、すべて原案のとおり認定・可決されました。

【全会一致で認定・可決された議案】

番号・付託先			件名
認定	5	予	令和7年度自家用工業用水道事業特別会計歳入歳出決算認定
	6	予	令和7年度可児御嵩インターチェンジ工業団地開発事業特別会計歳入歳出決算認定
	7	予	令和7年度土田財産区特別会計歳入歳出決算認定
	8	予	令和7年度北姫財産区特別会計歳入歳出決算認定
	9	予	令和7年度平牧財産区特別会計歳入歳出決算認定
	10	予	令和7年度ニ野財産区特別会計歳入歳出決算認定
	11	予	令和7年度大森財産区特別会計歳入歳出決算認定
	12	予	令和7年度水道事業会計決算認定
	13	予	令和7年度下水道事業会計決算認定
議案	48	予	令和8年度一般会計補正予算（第3号）
	49	予	令和8年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

番号・付託先			件名
議案	50	予	令和8年度介護保険特別会計補正予算（第1号）
	51	予	令和8年度下水道事業会計補正予算（第1号）
	52	総	行政手続条例の一部改正
	53	建	認可地縁団体の印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正
	54	建	景観条例の一部改正
	55	—	固定資産評価審査委員会委員の選任
	56	—	教育委員会委員の任命
	57	—	人権擁護委員候補者の推薦
	58	予	令和7年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分
	59	予	令和7年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分
	60	—	令和8年度一般会計補正予算（第4号）

【賛否が分かれた議案】

番号・付託先			件名	田上元一	前川一平	酒向さやか	田口豊和	松尾和樹	奥村新五	大平伸二	渡辺仁美	髙木将延	板津博之	伊藤壽	天羽良明	澤野伸	山田喜弘	酒井正司	野呂和久	川合敏己	川上文浩	伊藤健二	冨田牧子	亀谷光	林則夫
認定	1	予	令和7年度一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
	2	予	令和7年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
	3	予	令和7年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
	4	予	令和7年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○

※○は賛成　●は反対　　※議長（髙木将延）は採決に加わらない。
※付託先　予：予算決算委員会、総：総務企画委員会、建：建設市民委員会
※議案の詳しい内容については、議会ホームページまたは議会事務局窓口にてご覧いただけます。

議案などについてどのような審議を行ったのか、ピックアップしてお伝えします！



議案審査の内容はYouTubeで見られます

予算決算委員会

議案第48号　令和8年度一般会計補正予算（第3号）そのうち「可燃物処理事業」について

どんな内容？

ごみ集積場の設置などにかかる補助金について、自治会から当初の計画を超える相談・申請があり予算が不足するため、増額補正するものです。

主な質疑

Q　要望箇所を基に予算が組んであり、予算の終了次第、補助事業終了が原則であるが、なぜ補正してまで対応するのか。

A　本来は予算を超える要望がある場合は、次年度での対応となる。しかし、ごみ集積場の適正管理は利用する市民の生活に不可欠なものであり、管理する自治会の切実な要望に応えるため、補正予算により、柔軟に対応をする。

総務企画委員会

議案第52号　行政手続条例の一部改正

どんな内容？

不利益処分に関する公示送達をデジタル化（インターネット掲載など）するため、改正された行政手続法の趣旨を踏まえて改正するものです。

主な質疑

Q　公示内容がインターネット上で公開されるが、個人情報保護に関して、禁止行為などの注意喚起をどのように考えているか。

A　SNS等への転載・拡散禁止、禁止事項違反で損害を受けた場合は法的措置を講ずるなど閲覧時の禁止・注意事項を表示し、無断転載や悪用を防止していく。

建設市民委員会

議案第53号　認可地縁団体の印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正

どんな内容？

地方自治法施行規則の改正に伴い、関連する条例の引用条項のずれを整えるために改正するものです。

主な質疑

Q　条例の基になる施行規則の具体的な改正内容は何か。これにより何が変わるか。

A　認可地縁団体に関する告示などに記載されている代表者などの住所について、個人情報保護の観点から非表示とする。

教育福祉委員会

委員会質疑　不登校の児童生徒減少について

質疑の内容

Q　令和7年度教育に関する事務の執行状況に係る点検評価として月7日以上不登校を理由として欠席する児童生徒が減少したとある。

スマイリングルームや校内教育支援センター開設の成果はあったか。

A　スマイリングルームでは、支援を通じて16人の児童生徒が学校生活にシフトしたほか、同施設を安心できる居場所として学校と併用する生徒もいる。

令和7年10月に校内教育支援センターを設置した4校では、不登校による欠席が明確に減少し、未然防止や初期対応に有効に機能している。

10の視点　一般質問　一般質問もくじ

第４回定例会で一般質問を行った10人の議員の質問内容を紹介します。

P ９●小中学校ICT教育の現在地は
P ９●本市の建築・土木技術職員の確保、育成策は
P 10●AI時代の市民サービスと職員の働き方改革
P 10●女性の視点を踏まえた避難所運営
P 11●夏休み期間中の学校施設開放に関する考えは
P 11●子どもの心を育む芸術鑑賞の取組みは
P 12●名鉄広見線新可児～御嵩駅間の廃線の影響
P 12●地域防災計画の改訂と実効性のある防災体制
P 13●本市の道路管理にAIを活用してはどうか
P 13●地元中小事業者への経営支援の具体化を



YouTubeで一般質問の様子を配信しています。各議員名横の二次元コードからご覧いただけます。

※一般質問の紙面は、質問議員が作成しています。

＼教えて！／「一般質問」ってなぁに？

1.一般質問ってどんなこと？

一般質問とは、議員が市の課題や将来の展望などについて質問するものです。
これに対し、市は、現在の状況や今後の方針などを答えます。



2.どうして一般質問をするの？

・市民の思い、要望を市に届けるため
・市のルール、お金（財政）を確認するため
・質問や提案により住民サービスに市民の思いや要望を反映する効果があるため

3.議員の質問はどうやって見るの？

一般質問はだれでも見ることができます。
・議場で傍聴する
・ぎふコムネットCTK局（旧ケーブルテレビ可児）の生中継で見る
・YouTubeの録画配信で見る

９～13ページで、質問の概要をチェックしてみよう！



10の視点　一般質問

本市の建築・土木技術職員の確保、育成策は



天羽（あもう）　良明（よしあき）

Q　建築・土木技術職員のメンタルヘルスやワークライフバランスに対しどのように支援しているか。

A　メンタルヘルス対策は、市の職員全体と同じ枠組みで取り組んでいる。日常的なセルフケアや上司によるラインケアを基本とし、年１回のストレスチェックや希望者に月１回の心理カウンセリングを実施している。

　また、同じ職種の別の部署の先輩職員をメンター（助言者）として、技術継承を含めた相談体制を整えている。



バックホウを操縦する技術職員

災害時のインフラ復旧の要として人材育成は

Q　災害発生後のインフラの応急措置や復旧に重要な役割を果たすこととなる人材の育成をどのように考えているか。

A　近年、頻発化・激甚化する自然災害において、被害の把握や施設の応急復旧、工事の設計など、建築・土木技術職員の果たす役割は非常に重要である。

　万が一の際に迅速かつ的確に対応できるよう、日頃からの実践的な訓練や、積極的な研修参加、資格取得の支援などを行い、技術職員の対応力向上と人材育成に努めていく。

小中学校ICT教育の現在地は



田上（たがみ）　元一（もとかず）

Q　これまでのICT教育の成果と課題は。

A　小中学校に無線ネットワーク環境を整備し、リモート授業が可能になったことと、ICT機器を使った授業が定着したことが成果である。

　一方で、通信環境の安定化や、教員のICT活用スキルの向上が今後の課題である。

Q　ネクストGIGAで目指す方向性は。

A　１人１台端末を、鉛筆やノートと同じように当たり前に使える学習文房具として定着させるために、端末更新、通信環境の改善及び教員サポートの充実を図り、子どもたちの学びが止まることのない適正な運用を進める。



更新された１人１台のタブレット端末

コミュニティ・スクールの進捗状況は

Q　これまでの実践の成果と課題は。

A　学校運営協議会での熟議を通じて地域とともにある学校づくりを進めており、委員や地域住民が当事者意識を持って活動を展開している点が成果である。

　今後は、この協力体制が持続可能となるかが課題である。

Q　地域側の体制や活動状況は。

A　会議体を形成せず、緩やかなネットワークにより活動に参画する現場を地域学校協働本部としており、コーディネーターが要となって協働活動を推進している。

女性の視点を踏まえた避難所運営



渡辺（わたなべ）　仁美（ひとみ）

Q　防災施策に女性の視点をどのように取り入れているか。

A　防災会議の委員に女性４名を任命しているほか、防災安全課に女性職員を１名配置し、女性の声を意思決定に反映している。

　現在、消防団には14名の女性団員が在籍しているほか、避難所運営に当たる職員109名のうち約半数の55名が女性であり、日常の備えから災害時の対応に、女性の視点やニーズに応える体制を整えている。



女性消防団による救命講習

避難所のトイレ環境や防犯対策は

Q　避難所トイレ内の防犯ブザーや携帯用防犯ブザーの配布はされるのか。

A　トイレ内にはブザーを設置することとしている。現在、防犯ブザーとホイッスルを配備してあるが、どちらも数が少ないため、備蓄数を増やしていく。

Q　生理用品などを受け取りやすくする工夫は。

A　生理用品など女性のみが利用する物資は、男性からの提供に抵抗がある方に配慮し、女性の担当者から配布する。

　また、女性用トイレには生理用品を備え付けることとしている。

AI時代の市民サービスと職員の働き方改革



松尾（まつお）　和樹（かずき）

Q　生成AIの活用による業務時間の削減、成果物の品質や市民対応の変化、業務時間の転換先などをどう検証し、市民サービスの向上と職員の働き方改革へ結びつけるのか。

A　どれだけ生成AIを使ったかではなく、市民サービスや業務（職員の働き方）がどう変わったかを基準に、BPR（業務プロセスの見直し）と一体的に効果を検証する。



生成AI専門家による職員研修

AI活用を支える人材体制をどう築くか

Q　AI活用を支える中核人材の育成状況は。知識や経験を組織全体で共有・継承する体制をどう整えるのか。

A　特定の職員に依存している点が課題である。情報部門経験者を中心としたDX専門人材の枠組みを土台に、複数の職員が対応できる体制づくりを進める。

Q　AI分野に特化した外部の専門家による継続的な伴走支援として、公的支援制度などを検討し、職員の底上げ段階から活用してはどうか。

A　目的に合う外部人材がいれば、必要なところで積極的に活用していく。

10の視点　一般質問

子どもの心を育む芸術鑑賞の取組みは



野呂（のろ）　和久（かずひさ）

Q　18歳以下の子どもは無料、同伴者が半額で鑑賞できる文化庁の「劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業」に、可児市文化芸術振興財団主催の公演「たけとりＫＡＧＵＹＡ」が採択された。
子どもたちへの広報や応募状況はどうか。

Ａ　本事業の広報として「18歳以下無料招待」と記載したチラシを作成し、市内小中高等学校の全児童・生徒に学校を通じて配布したほか、スマイリングルームにも配布した。
　応募状況は、６回の公演で定員に達し、当日は小学生以下184名、18歳以下82名、同伴者168名の合計434名の参加があった。



文化庁の支援事業に採択された演劇

市内小中学校での鑑賞体験活動の現状は

Q　演劇や音楽などの鑑賞体験は児童・生徒の「豊かな心を育む」大切な活動と考える。
市内小中学校での取組み状況は。

Ａ　学校行事や総合的な学習の活動などを通じて児童・生徒の豊かな心を育む体験活動を推進している。
　体験活動には、演劇や音楽などの鑑賞体験も含まれ、例えば全ての中学校では日本の伝統芸能である落語の鑑賞会を実施した。

夏休み期間中の学校施設開放に関する考えは



澤野（さわの）　伸（しん）

Q　夏休み学校開放要請への対応は。

Ａ　夏休み等の長期休業中の子どもの学び・体験活動は重要であるが、普通教室を解放するには、個人情報管理や防犯の課題が多く、活用は困難である。また、教職員は当該期間も多くの業務を抱えており、休暇確保の観点からも難しい。
　なお、本市は国が要請する長期休業中の学習支援や体験活動を地区センターや図書館などで行っている。



長期休暇中の子どもの居場所づくりの為に
※生成AIで作成

長期休業期間の地域実情に応じた取組みは

Q　夏休みなどに子どもが参加できる事業は。

Ａ　市内14の地区センターを拠点に、地域と協力しながら、子ども向けのさまざまな取組みを行っている。
　夏休み子ども向け講座では、木工、天体観測、企業出前講座などを開催し、令和７年度は延べ1,582人が参加した。通年の子ども教室でも、茶道や将棋、料理など延べ1,819人が参加した。
　また、子ども食堂や不登校児童の居場所づくりなど、地域主体の取組みも進んでいる。
　今後も地域と学校がしっかりと話し合いながら、事業の充実を図る。

10の視点　一般質問

地域防災計画の改訂と実効性のある防災体制



板津（いたず）　博之（ひろゆき）

Q　今年５月に改訂した「可児市地域防災計画」で、分散避難への対応、受援体制の整備、デジタル技術の活用など、多くの内容が盛り込まれた。
**　指定避難所の削減や職員配置の見直しもされているが、その目的は。**

A　これまでは43カ所の避難所に127名の職員を配置していたが、災害対応業務の増加や休職などで人員不足が生じていた。
　今回の改訂で避難所を35カ所に縮小し、人員配置を見直すことで、消防団活動や各部署の業務継続計画（BCP）への充員が可能となり、市全体の災害対応力の向上につながるものと考えている。

一次物流拠点や活動拠点を変更した意図は

Q　物流拠点や活動拠点を「道の駅可児ッテ」から「文化創造センター・アーラ」へ変更した理由は何か。

A　可児ッテの駐車場には屋根がなく、物資の仕分けや活動拠点としての機能が屋外になる。猛暑や豪雨など気象状況を考慮し、物流拠点・活動拠点ともに第一次拠点をアーラに変更することで、トラックで運ばれる物資を直接屋内に搬入し仕分けることができる。
　また、同施設は、ボランティアセンターの拠点であるため、人員の連携も円滑になると考える。



第一次拠点となるアーラ（北側搬入口）

名鉄広見線新可児～御嵩駅間の廃線の影響



川上（かわかみ）　文浩（ふみひろ）

Q　名鉄広見線（新可児～御嵩駅間）の廃線による市民生活への影響は。

A　廃線まで残り２年７か月となったが市民生活全体への影響は限定的である。
　今後、新可児駅周辺の駐車場や駐輪場への需要変動に注視し、迅速かつ適切に対応する。また、沿線の移動需要に対応するため、「新可児～明智駅間」にバス路線を新設する。

可児御嵩IC工業団地の拡張の可能性は

Q　可児御嵩インターチェンジ工業団地北側の農地と廃線跡地との一体利用により工業団地の拡張が可能となるのでは。

A　跡地利用は名鉄から方針が示された後、将来のまちづくりや周辺道路の整備といった観点から検証する。可児御嵩インターチェンジ工業団地の拡張については庁内での整理・検討が必要である。

Q　兼山地域の名鉄八百津線跡地の活用は。

A　一部市民広場などで活用しているが、兼山町と合併した後、トンネルを含めた跡地をどうするかの議論はしていない。今後、検討する必要がある。



兼山駅跡

10の視点　一般質問

地元中小事業者への経営支援の具体化を



伊藤（いとう）　健二（けんじ）

Q　ナフサ危機などにより中小事業者が経営危機に直面している。思い切った金融支援・資金繰り対策は必要ないか。

A　可児商工会議所に地元事業者の経営動態を聞き取りしたところ、様々な業種で資材・燃料の価格高騰や資材の供給不足、顧客の買い控えなど、経営状況は厳しいとのことである。また、報道によると、今年上半期の県内企業の倒産件数は、前年同期比39.2％増の103件、業種別では建設業が24件で最多、従業員数別では10人未満が全体の87.4％であり、小規模事業者の倒産が多くみられる。

市は地域通貨の配布や水道料金減免などの支援を行った。融資制度や各種補助金制度、経営相談窓口もあるので、現時点で新たな追加支援策は考えていない。

合特法に係る代替業務の契約方法の見直しを

Q　合特法による代替業務の提供が30年続き、特定事業者との随意契約額が５億1,200万円を超えている。歯止めのない膨張にならぬように見直しが必要でないか。

A　合特法による代替業務は、地方自治法施行令による競争入札が適さないものに該当することから、随意契約で行うことになる。

令和7年度　合特法に係る代替業務報告書

業務区分別内訳

項　目	R7	
	件数（件）	金額（円）
下水維持管理	120	182,216,386
汚泥処分	2	1,764,576
し尿処理施設維持管理	3	105,904,700
維持管理業務	25	152,652,280
浚渫関係	9	4,886,200
除草業務	8	20,787,140
その他業務	3	44,197,120
合計	170	512,408,402

令和７年度　合特法に係る代替業務報告書

※合特法…下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法

本市の道路管理にAIを活用してはどうか



山田（やまだ）　喜弘（よしひろ）

Q　道路管理にAIを活用する場合の課題は何か。

A　道路管理へのAI導入は、人手不足の解消や業務の効率化・高度化が期待される。

一方で、システムの初期費用やクラウドの利用料などの予算確保が課題である。また、AIによる画像解析では、天候や影、日照条件などによる「誤検知」が起きるため、人間による補完が欠かせない。さらに、蓄積データの活用方法や、修繕の優先順位の基準の設定も重要である。

本市では、岐阜県の試行実施の状況を参考に、今後も積極的に情報収集に努めていく。



道路管理のAI活用イメージ
※生成AIで作成

Q　屋外業務を行う職員の熱中症対策は。

A　昨今の猛暑・酷暑に対応するため、令和６年度から、１日４時間以上・週３日以上の屋外業務を行う職員には、ファン付き作業服の購入を認めている。

飲食料品消費税１％が財政に与える影響は

Q　国は令和９年４月より飲食料品の消費税率を１％に引き下げる予定である。本市の財政に与える影響は。

A　消費税率が現行の８％から１％に引き下げられた場合、令和７年度決算に基づき試算すると、地方消費税交付金が約３億5,000万円減収となる。

議会レポート

このコーナーでは、議会が行っている活動などを紹介します。

子ども議会　～帝京大学可児小学校～（7月7日）

帝京大学可児小学校の6年生が、市役所庁舎5階の議場を使って、議会の仕組みを学ぶ、「帝京大学可児小学校子ども議会」を開催しました。





議長役は冨士原さん

前半：議会ってどんなところ?

板津議員（広聴部会副部会長）が「議員の役割」や「議会の仕組み」について、クイズを交えて分かりやすく解説しました。

児童の素直な質問に議員が回答し、議会への理解を深めました。

後半：議会体験をしてみよう

架空の自治体を舞台に「模擬議会」を実施しました。

児童たちが議長・議員役を務め、市長・執行部役を務める議員に質問を行い、政策案について熱心に意見を交わしました。

本市の議員によるサポートのもと、討議から多数決による採決までの流れを体験し、主権者としての第一歩を踏み出しました。



意見発表



議案について議論



起立採決



生涯学習　楽・学講座　～中恵土キャンパス～（7月15日）

地域の生涯学習を支援する市の出前講座「楽・学講座」の一環として、中恵土地区センター主催「中恵土キャンパス」の受講生40名をお迎えし、市議会の説明や議場などの見学会を行いました。

市議会の説明と議場見学の概要

当日は、髙木議員（広聴部会長）がパワーポイントを使って、二元代表制（市長と議会の役割の違い）や、可児市議会の特徴的な取組みについて解説しました。

その後、実際に議長室や委員会室などを案内し、市議会への関心を深めていただきました。

参加したみなさんの声

今までイメージしにくかった市議会の活動が、日々の暮らしの源になっていると身近に感じられました。

丁寧で分かりやすい説明でした。ぜひ一度、議会の傍聴にも来てみたいと思います。

可児市に住んで50年になりますが、初めて議場に入り大変良い経験になりました。



〈議場〉



〈議長室〉



〈委員会室〉



委員会トピックス　名鉄広見線と可児市議会の取組み



可児市議会がこれまで取り組んできたこと

名鉄広見線（新可児～御嵩駅間）は、みなし上下分離方式による存続の可能性を模索してきましたが、乗客の増加が見込めないことや、負担額が大幅に増える見通し、災害発生後の復旧費捻出が困難であることなどから、「廃止やむなし」との決定がなされました。廃止時期は代替交通手段の準備のため、令和10年度末を目途とされています。

市議会は平成20年に名古屋鉄道㈱から新可児～御嵩駅間の廃止意向が表明されたことを受け、平成20年3月に議会内に名鉄広見線対策特別委員会を設置し、存続に関する調査研究を開始しました。地域全体に関わる重大事と捉え、先進地視察、議会報告会などで市民意見の集約、関係機関との情報交換などを重ねました。

その後、公共交通全体を考える観点から所管を常任委員会へ移し、議会報告会、バスの運転手や高校生へのアンケート、先進自治体への行政視察などを実施し、その成果を「可児市地域公共交通計画策定に関する提言」として市長へ提出しました。

新可児～御嵩駅間は廃線という結果となりましたが、令和9年には議会からの提言を盛り込んだ、さつきバスを中心としたコミュニティバス再編が予定されています。地域の公共交通を将来にわたって維持・活性化できるよう取り組んでいきます。

※みなし上下分離方式…鉄道事業者が施設の所有権を持ったまま、自治体などが維持管理費や修繕費などの費用負担を財政支援する仕組み

名鉄広見線（新可児～御嵩駅間）は、地域の重要な公共交通として長年親しまれてきました。

可児市議会では平成20年の特別委員会設置以降、調査研究、市民との対話、関係機関との連携を重ねてきました。

これまでの主な取組み（歩み）

平成20年（2008年）	**名鉄広見線対策特別委員会を設置** 名鉄から廃止意向が示されたことを受け、調査研究を開始。
平成20～25年（2008～2013年）	**調査研究・情報交換・市民意見の集約** 名鉄広見線活性化協議会との連携、先進地視察の実施など、市議会としての意見集約を実施。
平成25年（2013年）	**特別委員会を廃止・所管を変更** 名鉄広見線に関する調査を、総務企画委員会の所管として継続。 （平成27年から市の組織変更により、建設市民委員会へ所管を変更）
令和6年（2024年）	**議会報告会などで意見収集** 「公共交通」をテーマに、かたびら交通まちづくりを考える会のほか各地域で懇談会などを行い市民の声を把握。
令和7年（2025年）	**「地域公共交通計画策定に関する提言」を市長へ提出** 調査・アンケート・意見交換の成果を取りまとめ、市政への反映を要望。
令和8年（2026年）	**先進地視察** 公共交通の先進事例として福井市（選ばれる公共交通）・金沢市（みなし上下分離方式）を現地踏査。
令和8年（2026年）	**新可児～御嵩駅間の廃線決定** 2028年度末を目途に廃止へ。
未来へ	**新可児～犬山駅間の維持・活性化へ** これまでの経験を次の公共交通政策につなげます。

市民の声を収集



先進地視察（福井市）



「地域公共交通計画策定に関する提言」を市長へ提出



発行■可児市議会 〒509-0292 岐阜県可児市広見一丁目1番地 ☎0574-62-1111 FAX0574-63-3972 E-mail■gikai-dayori@city.kani.lg.jp HPアドレス■https://gikai-kani.lg.jp/



今期はこんな活動をします!

可児市議会3つの常任委員会の所管事務調査 実施計画

市民の皆さんの暮らしに役立つ提言につなげるため、常任委員会において、所管する行政部門ごとに、市政の課題を調査・研究していきます。

総務企画委員会

企画・総務・経済交流などを所管

★今期の主な調査事項

- 市民、自治会未加入世帯、外国籍市民の防災意識向上
- 消防団の組織体制
- 避難所の国際基準(スフィア基準)

具体的な調査手順の概要

令和8年10月～12月
- スフィア基準について調査研究など

11月～令和9年2月頃
- 市民意見聴取を予定

令和9年4月頃
- 調査内容の中間とりまとめ

5月頃
- 先進地視察調査



建設市民委員会

市民文化・建設・水道などを所管

★今期の主な調査事項

- 公共交通
- 温暖化対策
- フリースピーチでの市民意見や予算審査案件の対応

具体的な調査手順の概要

令和8年10月～
- 提言の進捗確認など

令和9年2月頃
- 勉強会、先進地視察調査

2月14日
- 環境フェスタへの参加

5月
- 先進地視察などをもとに市民意見聴取を予定



教育福祉委員会

福祉・こども健康・教育などを所管

★今期の主な調査事項

- 児童・生徒の教育環境
- 複合的な課題を抱える世帯への生活支援の実情の把握と充実

具体的な調査手順の概要

令和8年12月頃まで
- 関係団体との懇談

適宜実施
- 高齢者サロン、子ども食堂などへ訪問

時期未定
- 市民意見聴取：(案)今必要とされる生活支援とは
- 先進地視察調査：(案)市内子育て関連施設について



令和９年６月の所管事務調査の結果報告に向け活動します！

令和8年第5回定例会のお知らせ

11月	
27日	開会日(議案説明)
12月	
3日、4日	一般質問・議案質疑
8日	予算決算委員会
9日	総務企画委員会
10日	建設市民委員会
11日	教育福祉委員会
18日	閉会日(委員長報告・討論・採決)

※会議は午前9時開会の予定です。
※日程は、都合により変更する場合があります。

Facebook

Instagram @KANISHIGIKAI

議会活動を見て・知って

令和8年度上半期の議会活動をお伝えする番組「議会のトビラ」をぎふコムネットCTK局(旧ケーブルテレビ可児)で放送します。

放送予定 11月14日(土)～20日(金)

各日6:30、9:30、14:00、19:45、23:45から放送開始

今号の表紙「紅葉と竹あかり」えむさんのコメント

「昨年11月に可児市観光協会さん主催で行われた第12回可児市もみじ祭にて、木曽川トリベールさんの竹あかりと、紅葉がとてもいい感じでした。」

表紙の写真・イラストを募集中!

可児市内で撮影した写真や、可児市内の風景などを題材にしたイラスト・絵画を可児市議会だより「議会のトビラ」の表紙に応募してみませんか?

(過去の応募作品)







くわしくは議会HPまで

オンラインでの応募はこちらから

VEGETABLE OIL INK 「可児市議会だより」は再生紙と環境に優しい植物油インキを使用しています。